

(注意)

- 解答は結果だけでなく、それに至る過程を記述すること。

1 次の各問に答えよ。

- (1)  $z = \sqrt{x^2 + y^2} - 2$  の定義域と値域を求めよ。定義域については  $xy$  平面に図示せよ。
- (2)  $f(x, y) = \frac{x^2 - y^2}{x^2 + y^2}$ ,  $(x, y) \neq (0, 0)$  の  $\mathbb{R}^2$  への連続的拡張があれば求めよ。無ければ「存在しない」と答えよ。
- (3)  $f(x, y) = \sqrt{|xy|}$  の偏微分係数  $f_y(0, 0)$  を定義に従って求めよ。
- (4) 関数  $z = f(x, y)$  は  $f(3, -4) = 3$  を満たす。  $(x, y) = (3, -4)$  において全微分

$$dz = dx - 5dy$$

をもつとき、グラフ上の点  $(3, -4, f(3, -4))$  における接平面の方程式を求めよ。

- (5)  $f(x, y) = y^2 e^{-2x}$  の3次までの偏導関数をすべて求めよ。

2 連続関数  $f(x, y) = \begin{cases} \frac{x^2 y^2}{x^2 + y^2}, & (x, y) \neq (0, 0), \\ 0, & (x, y) = (0, 0) \end{cases}$  について次の各問に答えよ。

- (1)  $f$  は  $(0, 0)$  で全微分可能であるかを定義に従って調べよ。また、全微分可能ならば接平面の方程式を求めよ。
- (2) 偏導関数  $f_x(x, y), f_y(x, y)$  を求めて、 $f$  が  $(0, 0)$  で  $C^1$  級であることを調べよ。

3  $f(x, y)$  は  $C^2$  級とする。合成関数  $z = f(r \cos \theta, r \sin \theta)$  について、2次偏導関数  $z_{\theta\theta}$  を  $f, r, \theta$  で表せ。

4  $f(x, y) = xy^2$  を考える。

- (1) 点  $P(1, -1)$  におけるベクトル  $(3, 5)$  で定まる方向の方向微分係数  $f_{\mathbf{u}}(1, -1)$  を求めよ。また、求めた  $f_{\mathbf{u}}(1, -1)$  の値は  $f$  のグラフのどのような情報を与えているか。
- (2)  $P$  を通る  $f$  の等高線を、 $P$  の近傍において線分で近似して  $xy$  平面に図示せよ。